

塩屋商店会 SHIOYA TIMES

近頃若者の間で囁かれる「さいきん塩屋がヤバいらしい」「今度、行こー」たしかに、休日ともなると三々五々歩く2人組の多いこと！ それもそのはず？ 秋はまち歩きに最適な季節です。11月1日から一ヶ月間「もじひろいしおやさんば」開催します！ 塩屋商店会の旬な情報をお届けします。

発行元：一般社団法人塩屋商店会
神戸市垂水区塩屋町3-6-15
078-767-9408 www.nice-shioya.jp
shioya.syotenkai@gmail.com
塩屋商店会の発行する新聞です。
記事へのご感想、ご意見お待ちしております。



大売出し！ のむかしむかし

文＝松本徹（テツコの部屋）

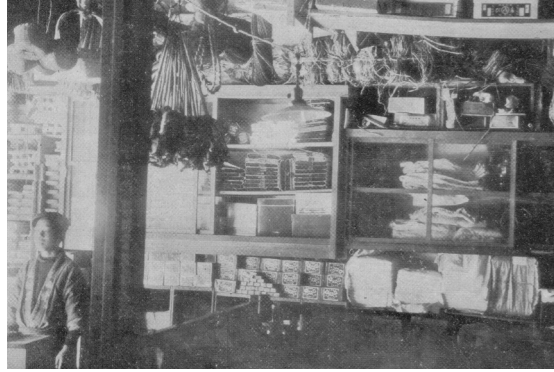
コロナ禍により、商店会は大売出し（感謝祭）が出来ないでいます。その代わりに商店会草創期の売出しがどのようであったかを回想してみたいと思います。

今の商店会の前身「塩屋商店連合会」は1955(S30)年に発足しました。その年に大売出しを挙行したことは、創立者たちの意気込みに大きいものがあったと言えます。

いわゆる戦後の復興期に属する時代で、日雇い労働者がニコヨンと呼ばれ蔑まれ、大卒の公務員の初任給が9千円足らずでした。

その最初の大売出しの抽選会場は、三ツ輪精肉店東隣で今は八百石の車庫兼倉庫建物です。それまではパチンコ屋であったのを商店会が借りたのでした。一階を抽選場として、中二階に手回しの蓄音機を持ち込んで、景気づけにレコードを鳴らしていました。所詮ゼンマイ式ゆえゼンマイが切れだすと音がふにゃふにゃになってしまう、その前に手回しの人手に子どもが呼び出されたりしました。手回しが使われたのは1、2日のことだったかと。すぐさま電蓄を持っている会員から借り出して賑々しくやっていました。宣伝は折込チラシの他に、軽トラックに紅白幕を張り、荷台からメガホンで訴えるというようなことをやっていました。

抽選は補助券10枚で1回となっていました。景品はすべて現物で、商店会員がそれぞれ店の米や酒など商品を原価で持ち出していました。ガラガラの中身はなく、紙函に布の巾着で覆った手作りのものでした。傑作なのは巾着の中身で、赤や白や黄色などの玉ではなく銀杏の実に1や2や3などとゴム印を押したものをに入れていました。売出しが終わると、それぞれ持ち帰り、酒のアテになったり子どものおやつに供せられました。



昔の塩屋について教えてください。
(折込のアンケート用紙をご覧ください)

塩屋的商店探訪 vol.1

ミツワヤ

正真正銘の手作りってこういうことなんだと思う

文＝清水理恵子

大橋ご夫妻が44年間「当たり前」としてコツコツ続けてきた手作業の技は、素朴なようで匠の極みだと思った。お二人は何てことない事だと思っているようで、私が聞きながら「へー！」「すごい！」と感嘆するたびに照れくさそうな笑顔がこぼれていました。

今回は「ミツワヤ」の変わらない美味しさを支える大橋さんご夫妻の匠の技を厳選し皆さんにご紹介します。

まずは写真の鋳物、何の道具かわかりますか？



ゴツゴツしたフォルムが、揚げ物屋さんにな釣り合いに感じますが、ミツワヤさんには欠かせないアイテム『手動コロッケ成型器』です。取っ手をぎゅっと握ると中の鉄板が奥に引っ込み、そこにコロッケのタネを詰めます。その後、握っていた取っ手を緩めると、小判型にまとまったコロッケの元が完成！ 成形担当の奥様、加代子さんの手から流れるように次々と小判が生み出されていく

美しい作業工程は見惚れてしまいます。（商店会YouTubeチャンネルでは動画でご覧いただけますので皆様も是非！）

私と同じくこの工程に惚れた方がなんと、20年前にもいらっしたそうです。

コロッケの成形の作業を、お店のショーケース越しにじっと眺めて楽しんでいた初老の男性。海外の大学の教壇に立つ仕事をされていたので、「向こうへ戻るときにこの道具を是非持って帰りたい！ ジャガイモが愛される国なのでコロッケを作るパフォーマンスを生徒たちに見せたい！」と、どこで買ったのか、どう使うのか、道具のことをあれこれ聞いて、喜んで帰られたそうです。

見る者を魅了してやまない、ミツワヤ創業時から愛用の『手動コロッケ成型器』。実は絶滅の危機なのだとか。元はお肉のスライサー機器を手掛ける会社がお肉屋さんへ卸していた道具だったのですが、機械化が進み生産終了。10年程前に最後の在庫だった2個を買い占めて、手直しをしながら大切に使い継いでらっしゃいます。現在、最後の1つが活躍中。ですが、コロッケの厚みを調整するばねや小判を押し出す支柱などに少しずつ不具合が出始めているようで、手動コロッケ成型器の情報、鋳物の修理などの情報がありましたら是非お寄せください。

続いての匠の技は、チューリップの仕込み作業。こちらはご主人、達夫さんの担当。

仕入れてきた手羽先から持ち手の部分の骨を出し、手作業で丁寧に整えていきます。この工程はチューリップ加工と呼ばれ、大橋さん曰く、小骨を外したり、皮をひっくり返したりの作業が細かいので、令和のこの時代にも機械化はされていないそうです。

「チューリップがどこの揚げ物屋さんにもないのは、この手間

ミツワヤ

住所：神戸市垂水区塩屋町3丁目10-17

電話番号：078-751-0087

営業時間：11:00～19:00

定休日：日曜日



がかかるからかなぁ……。ほんま、腱鞘炎にならずにお父さん44年間ようやとるわあ」と奥様がポツリ。話している10分強の間に2Kgの手羽先が達夫さんの手であつという間にチューリップの形に仕上がっていました。塩屋には当たり前のようにあり、『しおやカルタ』にも登場するくらい、チューリップは塩屋のソウルフードとして定着していますが、ミツワヤさんの手間を惜しまない姿勢のおかげで私たちの口に届いているんですね。聞けば聞くほど色んなお話が飛び出し、シンプルゆえに日々素材にこだわる思いが伝わります。

コロッケのタネは、じゃがいも・ミンチ・玉ねぎのみで出来ているので、特にジャガイモのおいしさが重要です。ホクッとした食感がしっかり出るように品種の配合を考えたり、試食を重ねるなど、日々試行錯誤。全て手作業なので、じゃがいもの蒸し上がりの状態や、漬すときの手触りの感覚で仕上げていきます。他にも、エビフライのエビの背ワタ取りも一つ一つ丁寧に。旬の美味しいお魚の情報が市場から届いたら仕入れて、下処理もお店で行います。極めつけは揚げ油。揚げ物の仕上がりを左右するので、毎日時間をかけて油切りを行い、廃油業者さんにもびっくりされる位の油の品質を保持されているそう。

1978年創業、来年で45年。

「どこまでいけるやらか、私たちも70代になっちゃったからなぁ、まあ行けるところまで頑張ろうかな」

ずっと変わらず、優しく、町の人たちの胃袋を支える大橋ご夫妻。丁寧に手間をかけて作られた揚げ物たちから、飾らないお二人のお人柄が伝わります。

新規加盟店一挙紹介！

今年3月オープンの **tana** (タナ)。9丁目の一軒家に厳選された古着や器、小物が並んでいます。姫路で人気の古着屋さんが二号店開店にあたって広く物件を探していたところ、塩屋の丘の上の一軒に白羽の矢が。9月の後半にはおみちゃんの家の二階に飛び出してきてくださったので、この機会にファンになられた方も多いのでは？

7月にオープンした **Ryu Cafe** (リュウカフエ)。八百石から入った路地の奥、大正期の古民家をリノベーションした雰囲気のある店内で楽しめる台湾料理や飲み物のあれこれ。3種あるランチはどれも手の込んだものです。田仲豆腐の豆乳を使った豆花も定評あり。注目は南側の塩屋東市民公園に面した壁面緑化。よくみると白い苦瓜や水檸檬など、南国台湾を感じさせる植物がもりもり育っていて目を楽しませてくれます。

その路地から出てミニコブへと続く塩屋のメインストリート。シオヤドリアの隣に7月にオープンした寿司の用心も評判上々です。店内の水槽には新鮮な近海魚が泳ぎ、お米やお酢も厳選されていて、大将が握る季節折々の創作寿司を店内、テイクアウト、デリバリーで楽しめます。

塩屋小学校手前の貴伝名酒店の建物も、リノベーションにより雑貨店408(ヨンマルハチ)、花屋u3(ウミ)と古着屋 FOSTER(ロストバード)の入った多目的スペース **heso.** (ヘソ) に生まれ変わりました。もちろん配達メインの貴伝名酒店の機能はそのままに、まさにしおやのへそのような場所、人と人とを繋ぐ、新しい拠点となりそうです。 **yamne** (ヤンネ) は昨年オープンの、南谷の平家でアクセサリーやオブジェ、洋服やうつわなど、作家の作品や古道具を取り扱うギャラリーショップです。一ヶ月ごとに展示会の内容が変わるので、作品との一期一会の出会いを楽しみましょう！

そして、10月には **Ryu Cafe** の隣におなじみトランクデザインが垂水区で3店舗目となる印刷所兼雑貨書店 **PROTO** (プロト) をオープン。お隣同士、大正時代の古民家を再生、雰囲気のある路地に2013年に惜しまれつつ壊されてしまった旧ジョネス邸の大きな窓が再利用されている点にも注目ください。塩屋商店会では新規加盟店を募集しております。また、しおみちゃんの家(塩屋商店会事務局) 2階は多目的スペースとして、貸し出しを行なっております。加盟店の皆さまには格安でお借りいただけます。どうぞお気軽にご利用ください。詳細は商店会事務局まで。

ところで、どうして塩屋で商いを？



寿司 大心

塩屋町3丁目 | 商店街

大阪、天満で寿司店を営んでましたが、コロナ禍でお客様が激減、地元垂水への移転を考える中、憧れの町でもあった塩屋でご縁を頂き、友人知人の協力もあり、高齢の方も多いこの地域で配達業でお客様に喜んで頂きたいと思い、テイクアウト、店内飲食も展開し、新しくスタートできる運びとなりました。

📍 sushi_daishin.sioya



Ryu Cafe

塩屋町3丁目 | 商店街

実はもともと塩屋(というか神戸)に縁もゆかりもなかったのですが、たまたま知り合いにシオヤチョコレートさんを紹介していただいて、そこでポップアップストアをしたときに、すごく地域の皆さんが温かった。海や山など自然も近くて、人情味あふれるこの街がとても好きになりました。

📍 ryucafe_kobe



tana

塩屋町9丁目 | 獅掛

新しいものと歴史あるものが混ざりあった塩屋の町並みや風景、そして何より人との繋がりを大切にされている塩屋の皆様のお人柄に魅了されました。tana が、まだ塩屋の魅力を知らない方が訪れるきっかけになればいいな。古き良きものに触れ、町散策もお買い物も楽しんでもらえたらいいなと思い、塩屋でオープンいたしました。📍 tana.shioya



子どもたちに提案、役に立つグッズ・遊び！ vol.2

国道2号線沿いのオフィスビルの1フロアで、障がいや療育の必要性のある子どもたちに支援をする放課後等デイサービス **Ball-Day** の高橋さんが寄稿してくださいました。

今回は気軽に試せるグッズをご紹介します。ともに百元ショップのダイソーで販売されているものです。

1つ目は「うんちあつめポーカー」。「うんち」は子どもたちにとっての最強ワードです。だから、子どものココロをわしづかみ間違いなしです！ このカードゲーム、ルールはトランプの定番ポーカーとほぼ同じ。違うのは「トイレカード」の存在です。このカードは好きな相手に渡すことができ、渡された相手は持っているすべてのカードを場に捨てなければなりません。見て楽しい、駆け引きも楽しい、家族で楽しむ

ことができるカードゲームです。

2つ目は「おたく両面マグネット」。朝の身支度を子どもが主体に行うためのグッズです。専門用語で「視覚化」といわれる支援です。洗面や歯磨きなどやるべき項目を文字とイラストで見える化。終わったら裏返すことで、できたこととまだのことが一目瞭然。ご家族の声かけを減らすことができます。少ない支援でできることと自信につながることも間違いなしです。

ともに幼いお子さんからできます。参考にしてみてください。



塩屋商店会 新会長からの挨拶



皆さん、こんにちは。この度、塩屋商店会、会長に就任しました。ヒーローズ薬局の堀田です。塩屋商店会はどこにでもある商店街とは違って、広範囲に点在しています。僕は点々とある商店を線で結び、その線を面にして、塩屋愛のある地域の皆さんと共存共栄できる商店会を目指しています。引き続き地域の皆様の応援、ご協力、何卒よろしくお祈りします。

キャンピングカーが借りられます！

塩屋駅の西、山陽電車の高架下に停車しているキャンピングカー。搭乗最大7名、就寝最大5名で エアコン、シャワー、トイレ他、設備が充実している上、Wi-Fi も備えられているそう。これからの行楽のシーズンに是非、塩屋の皆さんにご活用いただきたいとのこと。平日 14,000 円 土日祝 17,000 円 保険料 1,000 円 (全て税別) ご予約、お問い合わせは (株) カルスードサービス 078-777-6817 まで。



みちままとサワーキーの
今月の一枚

